

件名

ニジガハマギクの定植について

内容

1. 目的

地元の地名がついたニジガハマギクは、浅江地区に自生する菊で、秋には3cmほどの可憐な花が沢山咲きます。

光市立浅江小学校に隣接している、潮音寺山(標高62.3m)の整備を、S54年から進めてきました。潮音寺山に自生しているニジガハマギクが減少傾向にあるため、H17年から保護活動に取り組んでいます。

第17回となる今年度も、浅江小学校4年生(115名)の総合学習の時間を利用して、さし芽(6月2日)を実施しました。その後、根付いて大きくなりましたので、以下の要領で定植を行います。

2. 日時

令和3年9月30日(木) 10:15～11:55(小雨決行)

(3・4組 10:15～11:00 / 1・2組 11:10～11:55)

3. 場所・方法

浅江小学校 敷地内

直径約15cmの穴をほり、肥料を入れてビニールポット(黒色・直径約10cm)から苗を取り出し定植する。

4. 指導者

潮音寺山里山づくり推進部部員及びコミュニティ協議会役員

5. ニジガハマギクの由来について

昭和7年に、植物分類学者 牧野富太郎博士によりノジギクとサンインギクの自然交配種であることが論文発表された。

自生しているところの地名 虹ヶ浜をつけて、ニジガハマギクと命名。

昭和15年に光海軍工廠ができ、光駅と改名されたが、それまでは虹ヶ浜駅とよばれていたように、当時は、ニジガハマの地名は、今より一般的だったと思われる。

美しい地名がついたノギクなので、各地からわざわざ光を訪れる山野草の愛好家も多い。

また、浅江小学校の校章、校旗、帽子等にデザインされ、校歌にも歌われている。

6. 実施

浅江地区コミュニティ協議会

〔主管〕 潮音寺山里山づくり推進部 部長 山本 洋治 (やまもとようじ)

問合せ

・ 浅江コミュニティセンター 主任 岡本美恵子

電話 0833-72-1438

・ 潮音寺山里山づくり推進部 部長 山本 洋治